

自治体
の紹介

背景

明石市は、面積49.42km²の海岸沿いに細長い形をしており、瀬戸内海に面する日照時間が長い温暖な地域です。

- ・豊かな漁場を有し、鯛・マダコ・いかなごなど「**魚のまち明石**」
- ・製造業が盛んで、市内の98%以上が中小零細事業者
従業員数や製造品出荷額が**県下4位！**
- ・**県内初！**気候非常事態宣言表明、SDGs未来都市選定(2020年)
- ・国勢調査の結果で30万人突破(2021年)
- ・12年連続で人口増加！(2024年)

現状の
課題

●「ゼロ・カーボンあかし」の課題

- ①中小零細事業者は、取組む人材不足やコストや資材の高騰により脱炭素化が進まない。
温室効果ガス削減量は2013年比で▲16.7%(2022年速報値)であり、スピードアップが必要。
- ②製造品出荷額や人口の増加で増えるエネルギーもあり、脱炭素化を加速化する必要があり、全国にも注目される新たなモデル事業の発掘など、市が先導して取組を進めたい。

●「ネイチャーポジティブ」の課題

- ①市北部の里山再整備など、自然環境の保全・回復に取り組むべき事項がたくさんあり、新たな人材や支援が必要になっている。
- ②ネイチャーポジティブ(自然再興)の取組を進めるため、**市民、地域、企業と連携し、もっと認知してもらいたい。**



明石市の重点取組！

↓
皆様の寄付で取組のスピードアップ

↓
従来の子育てのまち＋環境と産業のまち
魅力のあるまちづくりへ！

事業の
目的

ゼロ・カーボンあかしに向けて、公共への太陽光発電設備やEVを促進すると共に、脱炭素化による企業価値の向上や経営コストの削減など、産業の発展につなげる「環境と産業の好循環」を目指します。

事業
内容

「ゼロ・カーボンあかし」の取組

① 公共施設への太陽光発電設備の導入

⇒ 2030年度までの5年間で10施設への導入を目指す＜実績：10/20施設＞

学校施設では、モニターで発電量
を見える化するなど、児童の教材
にもなるなど教育現場と関わって
いきます。

② 公用車のEV化

ふるさと納税で昨年度は保健所に**4台納車**！
順次納車を進め、CO₂の削減量について広くPRしていきます。

⇒ 可能な限り更新時でのEV化に努めます＜実績：5/200台＞

③ 市民・事業者への設備導入補助

事業者用に、新制度「あかし脱炭素化経営パワーアップ制度」を発足。
脱炭素経営のモデル事業を創設し、市内だけではなく全国的に情報発信をしていきます。

⇒ 新制度と共に事業者の活性化と、家庭の普及を促進します

家庭用は応募多数により**1ヵ月で終了**！
件数増を図り、要望に応えていきます。

得られる
成果

公共・民間・家庭、すべての角度から脱炭素化を行うことで、2050年における明石市のカーボンニュートラルを実現します。

脱炭素化と共に地域経済が活性化し地力のある企業が増えることで、環境と産業の好循環となり、持続可能な企業や町を目指します。



事業の
目的

ネイチャーポジティブの実現に向け、自然共生サイトの認定を目指すと共に、特定外来生物対策に取り組み、健全な生態系の保護・保全に努めます。

事業
内容

「ネイチャーポジティブ」の取組

① 生物多様性の保全

- ・市北部里山(約11ha)の自然共生サイト認定を目指す。
持続可能な体制を構築し、竹林・樹林整備、活動施設等の整備
- ・自然体験ができるネイチャーツアー(観察会)を実施(海、海岸、里山、ため池)
- ・自然環境調査を実施
- ・学校園等のビオトープを改修し希少種の生育域外保全施設を数か所整備(2025年時点3箇所)

これらの事業は、本市だけの取組だけではなく、県や連携協定を締結している近隣自治体とも連携しながら実施しています。



(自然共生サイト候補地)

市民が自由に自然体験ができるプレーパーク事業も実施しています。

② 特定外来生物の駆除

- ・アカミミガメ、ナガエツルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリの対策を実施
※低密度管理を目指す但拡大傾向
- ・新たな種の移入に対する早期対策

地元企業に協力いただき、敷地内のビオトープを活用させていただくなど、民間企業との連携も積極的に進めています。



アカミミガメ
(1,000匹/年捕獲)



ナガエツルノゲイトウ
(寛政池)



クビアカツヤカミキリ
(被害141本)

得られる
成果

- ・放置された里山を再整備し、市民が自然体験をできる場を創出することができる。
- ・生物多様性が豊かな場所として、未来の世代へ引き継げる。
- ・外来生物による生態系への影響を防ぐことにより、本来あるべき生態系に近づく。

これらにより、ネイチャーポジティブの実現に近づくことができる。



本市の取組は、

- ・地域ぐるみで市民や事業者の脱炭素化に取り組みます。
全国的な課題となっている中、モデルとなる脱炭素化事業を創設し、市内、市外へ積極的に横展開をしていきます。
- ・ネイチャーポジティブの実現に向けた取組を進めます。
市民、事業者、他の自治体とも積極的に連携していきます。



メリットとして、

企業価値向上！

- ⇒ 全国的に注目の高い地域課題に貢献する企業としてイメージアップにつながります。
- ⇒ 新たなビジネスチャンス！
- ⇒ 各取組に関わる支援事業者や他の自治体等の関係づくりについても可能な限り対応いたします。

そのほか、

- ・ホームページ等の広報媒体での企業名の掲載
- ・市長感謝状の贈呈



<連絡先>

明石市 環境産業局 環境室 環境創造課

TEL:078-918-5786 E-mail:plan-ems@city.akashi.lg.jp



明石市

AKASHI CITY

市内事業者向け

明石市
AKASHI CITY

制度の動画

あかし脱炭素経営
パワーアップ制度

～ 脱炭素経営の取組をサポートします！～

脱炭素経営は、環境負荷の少ない地球にやさしい企業活動であることにくわえて、エネルギー料金などのコスト削減、企業のイメージアップなど、経営のパワーアップにもつながります。

ぜひ、パワーアップ制度に参加いただき、脱炭素経営をはじめてみませんか？

制度のポイント

脱炭素経営宣言を行い、登録されると、各種支援が受けられます。

- ① 脱炭素経営に意欲的な企業と
宣言事業者を市HPで公表、登録証の発行、ロ
- ② あかし脱炭素経営サポーター※が
提供や、取組の技術的、財政的
研修、エネルギー見える化ツール、計画づくり、省エネ
※ あかし脱炭素経営サポーター 市と連携して市内事業者の脱炭素
(商工会議所、金融機関、NPO等)
- ③ 優れた取組を表彰します！

脱炭素経営宣言について詳しくは裏面をご覧ください

2025年7月に創設
事業者の脱炭素経営に向けた取組を
官民連携で伴走支援する新しい制度

